

〈原子・分子〉と仲良くなった子どもたちへ

---

## 卒業記念に「フォトモザイク」はいかが

すべてのものは原子でできている

わたしの心と体は思い出でできている

～ アプリ「AndreaMosaic」の紹介 ～

---

石川・珠洲たのしい授業の会 尾形正宏

「すべてのものは原子でできている」を習った子どもたちにぴったりの卒業  
掲示。それが、本邦初公開、「思い出の写真でできている顔写真」。

遠くから見ると顔に見えるけど(左の写真), 近づいて見るとたくさんの写真  
の集合体(右の写真)であることに気づきます。

この掲示のタイトルは,

「すべてのものは原子でできている」

「わたしの心と体は思い出でできている」(→ p7)



## ■同僚の先生が卒業掲示用に作成.....

ここからは、同僚の西本先生の言葉を引用します。

卒業式が近づき、昨年の黒板アートに続き何かサプライズをしたいと考えていました。特に今年の卒業生は、昨年自分が担任した学年なので、思い入れがありました。

そんな時に、ふと「モザイクアート」のポスターを見て、思い出の写真を使ってモザイクアートが作れないかと考えました。作り方をインターネットで調べ「Andrea Mosaic」というフリーソフトを見つけました。写真を選ぶだけで簡単に作ることができます。使う写真の大きさや回数なども細かく設定することができます、とても便利でした。

(T.N「フォトモザイク」より)

昨年度、わたしは久しぶりの6年生の担任でした。今年度で退職となるわたしにとって、結果的には最後の担任がその6年生となりました(今年は級外です)。

実はこの6年生、5年生の時は初任のT.Nさんという若い男性の先生が担任していました。わたしは、そのクラスの副担任と理科・算数・体育などを担当していました。そして《もしも原子が見えたなら》をはじめとする仮説実験授業をやりまくっていました。6年生になっても、《燃焼》などの授業書もやってきました。その姿をN先生は見ていたのです。

N先生は、初任の年から、私たちのサークル(珠洲たのしい授業の会)にも顔を出してくれています。ま、そんな関係がありました。

## ■自分の顔が思い出の写真(約700枚)できている.....



ここ数年、学校で撮る写真はすべてデジタルです。ですから、学校のパソコンのサーバーには、入学してから今までの子どもたちの写真が、行事別、学年別に保存されています。これらの膨大な量の写真の中から 500 枚～1000 枚くらいを選び出し、それらを組み合わせて顔写真を合成するのです。

《もしも原子が見えたなら》で「すべてのものは原子でできている」と習った子どもたちにとって、「あなたの心と体(この写真)は思い出でできている」というスローガンはなかなかいいと思いますがどうでしょうか。

## ■「フォトモザイク」の作り方＝「Andrea Mosaic」.....

### 0 写真を集めておく

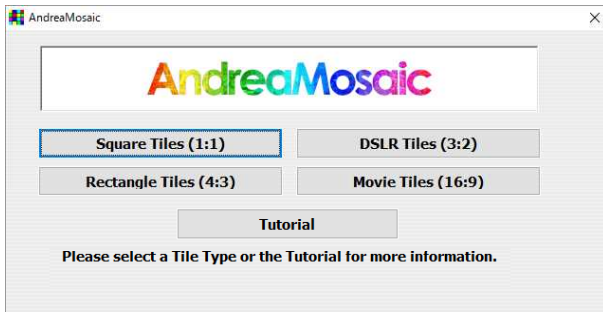
- ①モザイク写真にしたい写真を撮っておく。一人一人のアップが望ましい。
- ②1年生から6年生までの写真を一つのフォルダに集めておく。何度も同じ写真を使うことも出来るので、枚数は決まっていないが、500枚くらいあるといいかな。

### 1 「Andrea Mosaic」をダウンロードして、PCにインストールする

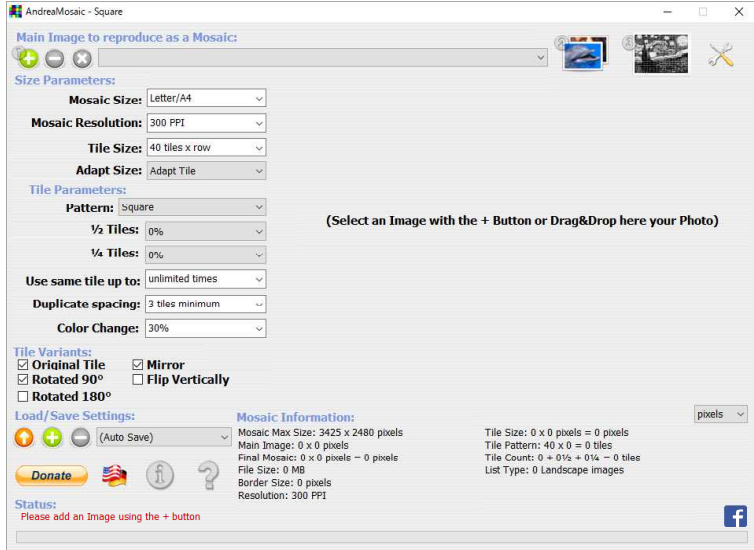
( <http://www.andreaplanet.com/andreamosaic/> )

今のところ、このアプリの「日本語版」はないようですが、ネットには、使い方を説明しているページもあるので、すぐに使えます。また、ほかにもいくつか似たアプリがありますが、この「Andrea Mosaic」が一番簡単で処理も速そうです。もし、もっと楽に作れるアプリがあったら教えてください。

### 2 インストール後、ソフトを起動して作る画像の比率を選ぶ

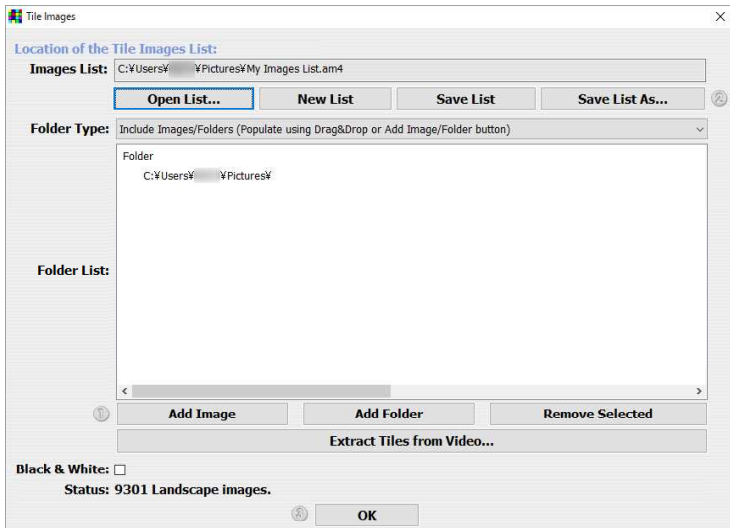


### 3 つぎの操作を行う(①②③の数字のボタンに注目)



をクリックして作りたい元画像を指定する。

をクリックして材料にする写真を選ぶ画面を出す。



「 Add Folder 」ボタンをクリックして写真や画像の含まれたフォルダーを選択し、「 Save List 」ボタンをクリック。「 OK 」を押す。



を押すと自動的にフォトモザイクファイルを作成し、元画像と同じ場所に保存される。

#### 4 設定変更も可能

上述したように、このアプリは、たったの 3 つの操作でモザイク写真を作ることができる優れたものです。

ただ、よりキレイに作ろうと思ったら、自分でいろいろと設定することも可能です。モザイクタイルに使う写真を回転させたり、何度も使ったり、色を微妙に変えたりということができるのです。できた写真の出来を優先するのか、それともタイル用の元画像がちゃんと見えることを優先するのかで、いろんなタイプのモザイク写真ができます。いろいろと試してみるのも楽しいです。

##### ① Size Parameters : 作るフォトモザイクの設定

Mosaic Size:完成後のフォトモザイクのサイズ

Mosaic Resolution:完成後のフォトモザイクの解像度

Tile Size:一つ一つのタイルサイズ

Adapt Size:タイルサイズの調整方法

##### ② Tile Parameters : 使う画像の設定

Pattern:画像の組み方。縦向き・横向きなど。

1/2Tiles:画像を二等分して使う

1/4Tiles:画像を四等分して使う

Use same tile up to:同じ画像を何回使うか

Duplicate spacing:同じ画像を使うときどのくらい離すか

Color Change:画像の色合いをどの程度変えるか

##### ③ Tile Variants : 画像の向きを変えて使用してよいか

…など

当然ながら、使う画像が多いほど、また制限が少ないほど、より鮮明なフォトモザイクを作成することができます。(以上の使い方は「 AndreaMosaic の使い方」 <https://freesoft-100.com/review/andreamosaic.html> を参考にまとめました)

## ■子どもたちの反応

卒業式前々日、フォトモザイクを掲示すると、「これ、どうやって作ったの？」とみんな驚いていました。1枚1枚思い出の写真が使われているので、立ち止まってじっくりと見ていました。

さすがに卒業生にはこの掲示の感想を聞く時間がなかったので、今回このレポートにまとめるに際し、夏休み中に小学校前を通る卒業生を捕まえて感想を書いてもらいました。

私たち卒業生に、このような思い出が形に残るものを作ってもらい、プレゼントまでしてくれて本当にうれしかったです。

また、私たちがずっと勉強してきた「原子」は私たちの身近にあるということ、「すべてのものは原子でできている」ということと絡めて、「わたしの心と体は思い出でできている」という、なんともステキで素晴らしいタイトルをつけていただき(泣)

「私はこの言葉を、仲間を、一生忘れたくない」と思えました。私以外の卒業生も、きっと、そう思っていることでしょう。

これからも私たちが成長していくと共に、思い出はふえつづけます。その思い出一つ一つ一瞬一瞬を大切に、これからの人生をEnjoyしていきます♡

H30卒業生 K.O

## ■こんな掲示です

2階と3階の踊り場の掲示板に貼ってみました。

また、画鋲を見えなくするために、仮説の授業でよく使った分子模型も貼ってみました(磁石になっているから簡単に貼れる)。2億倍の分子模型や水分子のビーチボールも置いてもらいました。

まさに、仮説実験授業《もしも原子が見えたなら》を学んだ子どもたちだからこそできる卒業記念掲示物となりました。

ビーチボールの脇には虫めがねも置いておきました。拡大して観てもらうためです。

これらの作品は、卒業式が終わってから持ち帰ってもらいました(わたしは、卒業祝賀昼食会をしている保護者に手渡しました)。



実は、この一人一人の顔写真の裏には、もう一枚「クラス集合写真」も印刷してあります(右の写真)。その写真の上下には、掲示板に掲げた2つの言葉が印刷してあります。卒業生たちは、もらってまたまたビックリ…という2重の仕掛けです。まったく手の込んだ掲示だよ。



2019/07/26 記

